

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月19日

岩手県知事
達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県大船渡市盛町字二本杵5番

氏 名 株式会社アマタケ

代表取締役 甘竹 秀企

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0192-26-5205

岩手県循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

株式会社アマタケ 萱中農場

事業場の所在地

岩手県大船渡市立根町字萱中270-2

計画期間

令和8年4月1日～令和9年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

12 事業の種類

012 畜産農業

②事業の規模

令和8年度 出荷予定羽数 3791490羽 (令和7年度比93.4%)
令和7年度 出荷羽数 4059700羽

③従業員数

15名(令和8年4月)

④産業廃棄物の一連
の処理の工程

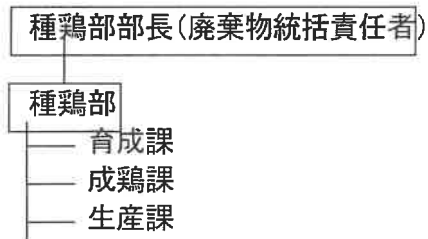
動物の糞尿：自社内の鶏糞ボイラーの燃料として活用し、その焼却灰は肥料として登録・販売している。
動物の死体：他社の化製場に委託処理し、飼料・肥料への再利用を行っている。
不適格卵：外部へ委託処理している
廃プラスチック：外部へ委託処理している

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	1	2	3	4	合計
	発生量（t）	558.0	17.9	26.3	0.5	602.6
	1：動物の糞尿、2：動物の死体、3：不適格卵、4：廃プラスチック （これまでに実施した取組） 不適格卵の発生量を抑制すべく飼育管理の改善を図る。また、動物の死体に関しても、飼育管理の改善を図ることで発生量の抑制を行う。					
②計画	【目標】別紙の通り					
	産業廃棄物の種類	1	2	3	4	合計
	発生量（t）	521.2	16.7	24.6	0.5	563.0
	1：動物の糞尿、2：動物の死体、3：不適格卵、4：廃プラスチック （今後実施する予定の取組） 上記取り組みの継続					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工程毎に発生した廃棄物を、しっかりと区分保管する。当農場でやむを得ず発生する廃棄物のリサイクルを促進するうえでも重要であるため、しっかりと行う。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に同じ

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分および海洋投入処分は行っていない。		
② 計画	【目標】 令和8年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分および海洋投入処分は行っていない。また、今後行う予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】別紙の通り				
	産業廃棄物の種類	1	2	3	合計
	全処理委託量（t）	17.9	26.3	0.5	44.7
	優良認定処理業者への処理委託量				
	再生利用業者への処理委託量	17.9	26.3	0.5	44.7
	認定熱回収業者への処理委託量				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
	1：動物の死体、2：不適格卵、3：廃プラスチック （これまでに実施した取組） 優良認定処理業者への処理の委託は行っていない。今年度も予定はないが、委託を検討する。 動物の死体 17.9 tは、再生利用業者にて飼料化・肥料化した。 熱回収を行う業者への処理の委託は行っていない。				

② 計画	【目標】 令和 8 年度				
	産業廃棄物の種類	1	2	3	合計
	全処理委託量（t）	16.7	24.6	0.5	41.7
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量				
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	16.7	24.6	0.5	41.7
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量				
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量				
	1：動物の死体、2：不適格卵、3：廃プラスチック （今後実施する予定の取組） 優良認定処理業者への処理の委託は行っていない。今年度も予定はないが、委託を検討する。 動物の死体 17.9 tは、再生利用業者にて飼料化・肥料化した。令和8年度は16.7 tを委託予定である。 熱回収を行う業者への処理の委託は行っていない。今年度も予定はないが、委託を検討する				
	※事務処理欄				

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	558.0 t	
	（これまでに実施した取組） 動物の糞尿は、自社内の鶏糞ボイラーの燃料として活用し、その燃焼熱は鶏舎の暖房に利用し、その焼却灰は肥料として登録・販売している。		
② 計画	【目標】 令和8年度		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	521.2 t	
	（今後実施する予定の取組） 上記に同じ		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	558.0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	512.2 t	
	（これまでに実施した取組） 動物の糞尿は、自社内の鶏糞ボイラーの燃料として活用し、その燃焼熱は鶏舎の暖房に利用し、その焼却灰は肥料として登録・販売している。		
② 計画	【目標】 令和8年度		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	521.2 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	486.8 t	
	（今後実施する予定取組） 上記に同じ		

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 全体

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	602.70	t
	563.00	

②	自ら直接 再生利用する量	t

③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	t

⑧	自ら中間処理した後 再生利用する量	t
	45.80	34.40

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	602.70 563.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	45.80 34.40
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	512.20 486.80
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	
⑩全処理委託量	63.61 64.37
⑪優良認定処理業者への処理委託	
⑫再生利用業者への処理委託量	63.61 64.37
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	

④	自ら中間処理 する量	t
	556.0 521.2	

⑥	自ら中間処理した 後の残さ	t
	45.80 34.40	

⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	t

⑤	④のうち熱回収 を行う量	t

⑦	自ら中間処理によ り減量した量	t
	512.20 486.80	

⑩	直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	t
	44.70 41.80	

⑪	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	t

⑭	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	t
	44.70 41.80	

⑬	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	t

⑮	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 動物の糞尿

)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用する量	t
②	45.8 34.4

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
③	558.0 521.2

排出量	t
①	558.0 521.2

自ら中間処理した後 再生利用する量	t
⑧	45.8 34.4

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	t
⑫	

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
⑨	45.8 34.4

自ら中間処理した 後の残さ	t
⑥	45.8 34.4

自ら中間処理 する量	t
④	558.0 521.2

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	t
⑬	

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	t
⑩	537.6 486.8

自ら中間処理によ り減量した量	t
⑦	537.6 486.8

④のうち熱回収 を行う量	t
⑤	

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	t
⑭	

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	t
⑪	

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	558.0 521.2
②+③自ら再生利用を行った量	45.8 34.4
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	537.6 486.8
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	t
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 動物の死体)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	17.9	t
	16.7	

②	自ら直接 再生利用する量	t
---	-----------------	---

③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
---	-------------------------	---

⑧	自ら中間処理した後 再生利用する量	t
---	----------------------	---

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	17.9 16.7
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	17.9 16.7
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.9 16.7
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

④	自ら中間処理 する量	t
---	---------------	---

⑥	自ら中間処理した 後の残さ	t
---	------------------	---

⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
---	------------------------------------	---

⑤	④のうち熱回収 を行う量	t
---	-----------------	---

⑦	自ら中間処理によ り減量した量	t
---	--------------------	---

⑩	直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	17.9 16.7
---	-----------------------------	--------------

⑪	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	t
---	-----------------------------	---

⑫	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	17.9 16.7
---	-----------------------	--------------

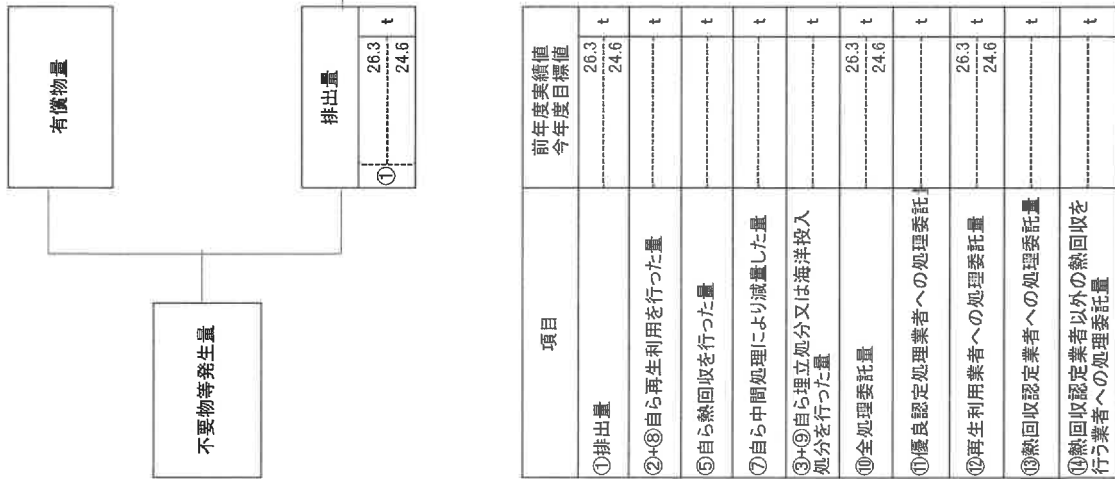
⑬	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	t
---	------------------------	---

⑭	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	t
---	---	---

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 不適格卵)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用する量	t
②	

自ら中間処理した後 再生利用する量	t
⑧	

排出量	0.5	t
①	0.5	

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
③	

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
⑨	

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	0.5	t
⑫	0.5	

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	0.5 0.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	0.5 0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理 する量	t
④	

自ら中間処理した 後の残さ	t
⑥	

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
⑨	

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	t
⑬	

④のうち熱回収 を行う量	t
⑤	

自ら中間処理によ り減量した量	t
⑦	

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	0.5	t
⑩	0.5	

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	t
⑭	

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	t
⑪	